

## 作業プロセス:



スタンドブルー<sup>®</sup>ベースコート  
のボカシ塗装  
(隣接パネルを含む補修)

## 素地:

- 補修箇所の準備は、(塗装仕様S3)を参照  
新品交換パネルを前処理準備

## 前処理/クリーニング:

- 補修箇所をP500-P600で研磨し、補修パネル全体を細目の  
研磨パッドまたは、P1000-P3000ダブルアクションサンダー  
で足付け研磨処理



スタンドックス塗装仕様S1素地準備情報を参照

## 塗装:

- 補修箇所の周囲、もしくは、隣接パネルにStandoblue<sup>®</sup>カラーブレンド8570/8580を塗り過ぎないように薄くミディアムウェット塗装
- Standoblue<sup>®</sup> ベースコート:  
ウェット状態のカラーブレンドのエッジ際までStandoblue<sup>®</sup> ベース  
コートを1コート塗装し、補修箇所の周囲/隣接パネルに広げる
- 残りの補修エリアに通常の1.5コートでStandoblue<sup>®</sup> ベースコートを塗装する
- 手元圧1.5-2.0バールに調整して塗装  
スプレーガンは、フルトリガー(トリガー部分を完全に握る)を維持して作業すること
- クリヤーコート:  
Standocryl<sup>®</sup> VOCクリヤー類を補修エリア全体に塗装

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」